

さまざまな形をしたロザリオ (wikipedia より)



彼らは、ビスカイノに聖母マリアのロザリオを首にかけてくれるよう頼んだり、祝福の言葉を求めたりしました。ロザリオとは、カトリック教会で使われる祈り用の数珠のことです。それを持つてきて首にかけてくれと頼んだのでしょうか。

ロザリオには十字架やキリストの像、聖母マリアが彫られたメダイなどが付いていました。ロザリオを持つていたということは、彼らがキリシタンだった

教などでも使われるようになったといわれています。いずれも祈りの回数を数える道具の役割をもっていますので、祈りの作法としては世界三大宗教に共通性がありました。

「赦免」と

キリスト教

ロザリオを持つて祝福の言葉を求めるこれらの人々たちについてビスカイノは、「赦免(じえん)やめん」を請うていたと書いています。

未来への航路

聖母マリアのロザリオ

ビスカイノが港灣探検で上陸した浜々では、めずらしい異人を見るために住民たちが集まってきましたが、仙台に戻ってきてからも多くの群衆の関心を引いています。

子どもを連れて人々が通りや広場に集まってきたということですから、ひと目見ようと家族ぐるみで見物に来たようです。

たという証しになります。仙台領に、まだ禁教令が发布されていない時期のことです。異人が来たという情報が領内に伝えられ、キリシタンたちも集まってきたのでした。

数珠はインドのバラモン教で使われていたものが起源で、仏教、キリスト教、イスラム

②9 仙台領のキリシタン

キリシタン

つたと考えています。そのようなイエスを神の子として尊崇し、イエスと神への信仰を告白するために洗礼を受けたのがキリスト教徒でした。

しかし「ゆるしの秘跡」を受けたあとでも人々は、神の教えに背くことがあります。キリストチャンが罪深い私をゆるしたまえと祈るのは、そのためです。これを「免償」と言いますが、カトリックではその罪の償いのために免罪符を与えていました。

免罪符とは、「罪に対する罰の免除証書」です。これは献金と引き換えに与えられました。お金で罪を償わせるという考え方で、免罪符の販売は教会の重要な収入源になったのですが、ドイツの神学者マルティン・ルターは1517年に免罪符の販売を教会の墮落だと批判し、宗教改革の火ふたを切ったのでした。カトリックに対するプロテスタントは、そこから生まれたのです。

プロテスタントという名称は、改革を弾圧



ひらかわ・あらた
昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。館長に就任した。

する神聖ローマ皇帝カール5世に対して提出した「抗議書(プロテスタティオ)」に始まるこのことです。プロテスタントは、カトリックに抵抗して新しく生み出された一派でした。戦国時代に伝来したのはカトリックですが、日本で免罪符が販売されたという記録はありません。ところでビスカイノ領には「赦免」を求めてきた人々、この罪のゆるしの観念をもっていたのでした。



支倉常長が持ち帰ったロザリオ (『仙台市史 慶長遣欧使節』)

ひらかわ あらた
平川 新

宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長